

## 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL 千賀、SL 田中、西、松下、松井、桐原、旅田

2.

3. 山域／ルート 北アルプス・唐松岳（八方尾根）

4. 交通手段 自家用車

### 5. 行動記録

<入山日 2014 年 12 月 6 日 下山日 2014 年 12 月 7 日>

12/5 西宮 21:10 出発=3:00 着 八方尾根スキー場駐車場 泊

12/6 7:30 起床=8:30 ゴンドラ 9:00 発（兎平）=アルペンリフト上 10:00 発→  
12:15 八方池山荘 12:30→石神井ケルン 14:05→  
15:05 着 2000M（トイレ横）泊  
(行動 5 時間)

12/7 4:00 起床 6:20→7:20 八方ケルン→8:10 第3ケルンで折り返し 8:25 →  
9:05 2000M テントサイト 10:10→12:05 兎平=13:00 八方スキー場駐車場  
= 21:30 西宮帰着  
(行動 4 時間)

### 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

グラートクワッド運休。一気に増えた新雪により行動に時間を要し、  
12/6 は 2000M で行動終了。12/7 も第3ケルンまで到達し行動を打ち切った。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す  
特になし。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし。

### 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

出発の前の週は冬型の気圧配置が続き一気に積雪量が増えた。

入山日の 12/6 も上空 5000M には-36℃以下の寒気も入り冬型気圧配置が継続中。

この状況では唐松登頂は厳しいと思ったが、まあどこまで進めるか行ってみよう！

アルペンリフト上からスタートし、グラートクワッドリフト下に歩を進める。  
がしかしスノーシューで突入するも腰～胸のラッセル！この先が思いやられる。

ザックを背負っているとその重みでさらに沈むので、先頭から2～3名は空荷でラッセルし、何とかルートを開き八方池山荘まで到達した。

すでに12時を過ぎ、今日中に八方池まででもたどり着けるか微妙な状況になってきた。

山荘前で休憩後再スタートするも、相変わらずの深雪に悪戦苦闘。ここから2時間の死闘の末、信州大パーティーは石神井ケルン(1974M)で14時過ぎに行動を終了した。我々はさらに1時間進行し、15時2000Mのトイレ前で行動を終了した。

夜間、若干の降雪が有り風雪でテントの一部は雪に埋まったが、比較的穏やかで暖かく快適な夜であった。(手元の温度計で-15℃くらい。)

翌朝、八方池を目指し行動開始。八方ケルンに近づくころ強風がパーティーを襲い始める。ラッセルを難儀する吹きだまりを避け、敢えて強風帯を進行し進路を切り開く。耐風姿勢を取りつつ、何とか目標の八方池・第3ケルンに到達できた。



八方池・第3ケルンに到達  
風雪の中で記念写真



テントサイトから八方ケルンを望む  
(12/7 10:24)

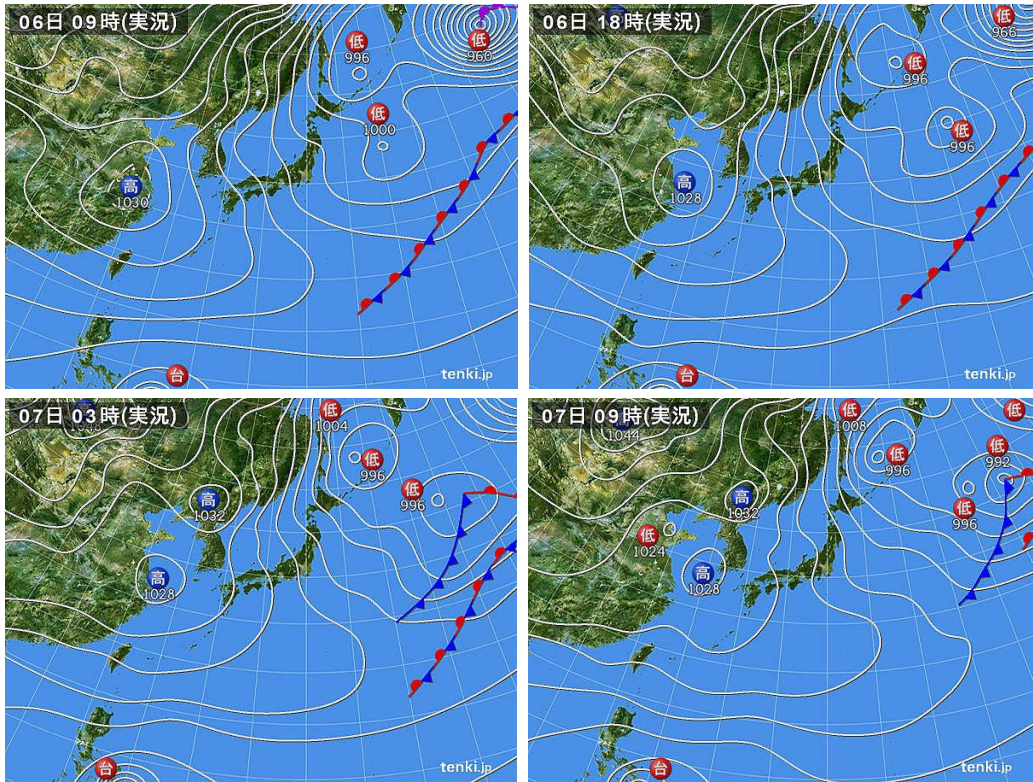


图 1 地上天気図

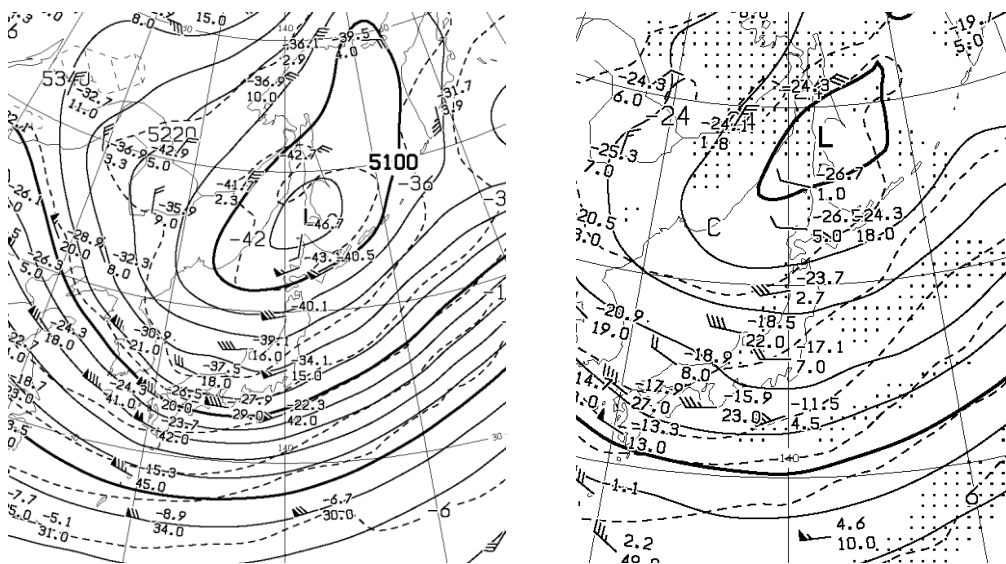


图 2 高層天気図 (2014/12/06 09JST)

報告者氏名 千賀 義一 2014年12月09日